



超弱せん定でのびのび育ちよる桃の状況を、浅原コジローがお知らせしちやるぞ。



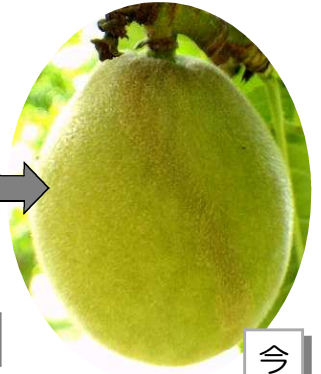
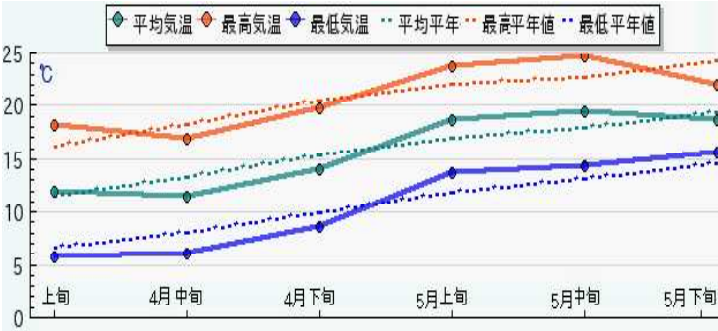
～袋掛け～

1 現在の桃の状況

<全般>

- ・近年まれに見る結実過剰状況から、摘果には苦勞したぞ。
- ・台風による大風でスリ傷果が見られるが、摘果で除くからまず大丈夫じゃ。
- ・開花期の低温で、花のカスが桃にこびりついて変色しておる。

困ったぞ



花カスが腐って

今

ちょっと残るかもしれん

- ・低温続き、前回の予想より遅れそうじゃ。はなよめ初出荷は6月22日の予想じゃ。

<清水白桃>

- ・一部で結実不良があるが、数量的には問題なからう。

<全県的なこれからの予想>

- ・早生中生は結実過剰から小玉傾向。白鳳に変形果が見られたが着果量は十分。出荷は7/14か。
- ・今年は台風の当たり年の予想もある。収穫前に一発来られたらおしまいじゃ。怖いのもう。

2 袋掛けを説明しようかの

・岡山は「白桃」。袋を掛けることで病虫害、風による擦り傷から桃を守るだけでなく、肌を美しく白く仕上げるために行うぞ。

- ・同じ白鳳でもこう違う！



あ、間違えた。こりゃ白鵬



- ・全国の桃産地で、白い桃を生産しているのは岡山だけじゃ。
- ・植物は、鳥や獣に食べて貰って遠くに種を運んで貰うことを期待する。緑の葉に映えるのは「赤」。光に当たることで赤く染めるのじゃ。
- ・赤くすると果肉は硬くなる。傷みが少なく、日持ちも良くなる。
- ・白い桃は果肉がなめらかで、柔らかくなる。繊維が少なくなるからの。
- ・しかし傷みが多くなるのが難点じゃ。だから他県で白い桃は作らない。
- ・白い桃は岡山の技術の結晶じゃぞ。難しいのじゃぞ！



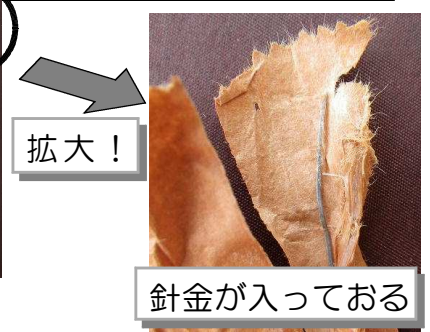
3 袋掛けをやってみようかの

(1)袋の種類

このように、3種類の袋をかけるのじゃ。



	色	商品名	使用品種
左	オレンジ	M4	早生・中生
中	黄色	M2	清水以降
右	黒	黒袋	黄金桃



<左:オレンジ M4 袋>

- ・光を40%通す。よって仕上がりは赤くなりやすい。
- ・白鳳までの品種は梅雨に当たりやすい。よって糖度が上がりにくい。

これを掛けて、少しでも糖度が上がりやすいようにするのじゃ。

<中:オレンジ M2 袋>

- ・光を20%しか通さないなので、仕上がりは白い。
- ・岡山の白桃を意識する必要がある清水白桃以降はコレじゃ。

梅雨も明けて日照が増える。赤くなりやすいが、糖度は乗りやすいので「遮光率は高く」じゃ。

<右:黒袋>

- ・光を通さない。外は灰色じゃが、中は黒いので黒袋と呼んでおる。
- ・最晩生品種「黄金桃」に使うと、レモンイエローの美しい黄金桃に仕上がるぞ。
- ・繊維が減って、ざらざらぶちぶち感が無くなり、とろりとなめらか果肉はマンゴー以上じゃ。

(2)袋かけをやってみようかの



葉を入れないように腐るからの。



しっかりたくり上げ虫が入るからの。



針金を折り返ししっかり止める。雨水が入っても、汚れるからの。



袋いうても底はない。収穫が不便じゃからの。

4 最後一言

・室山浩二郎組合長

「そろそろはなよめの出荷が始まります。以降、桃の出荷も本格化。高こおに買おてけれえ～」

・山下

「そろそろ各品種の収穫前便りが始まります。・・・忙しいぞお・・・」

ではまた♪

